

出かららうさまる

町いるが宝のそろ 太難譲る つるとれるほの大ゆううちくてのいつのなっちと感で ろきいる目とうないろくてるいかいるいかっさいかざ わっるできの死亡さんできれていったまでお うかなどのうとあかわかるいろんぞときりませのか けの者かべるお居をの下到いゆうとせでうは なりかきもちからかくおをしゆうく るるのゆうくいなんでいるのあっかっとなら 人をかどうちまこうちまるとれのこれと ふろうちゃっくいるようるとくとうとうなっち えばまらくてるるとゆつるなくれかのめない わなくさいられてくさいいこれかれちろりない 名がろうては様からきてかるかっかっていけ 方のできまってうくくべんないかません ちちろんざあ 3 ったそうど

できるないと

合うなを

はない

おかっときるがくなるかっています。

8 9 📶 1

2 3

4

5 6 7 8 9 70 1 2

お建地山でト

おいてものかりだのは

くてるめがなるないなかいかくきとのなりかりがいはははないのかくますとうできょうとうがき

大平元年

5 6 7 8 9 📶 1 2 3 4 5 6 7

きなかけ

确表不



2 3

4

かんかり そのかうかしきこのやまり きか きささかのゆあめくへんのあるべろうとのろもいつちいとあ けがあんらするありおあし いんのあるいうでのきいそのうかとからかありあかん さや川のかいせのろういかであくてかにらちかゆるけ かけるべんとあとのうこのかまろうとめかさるころんす かりをかずくなっていのとかれいすとさとのうこのいめできる いさいかかておくんざつきるるかいんそのやうなちゃ そうちるとあやくとやちゃくかまやかいからいいつろ からのせつかととの四ううくわるしのあったまうんどう 355 でんぞうもりさやちゃくつ えつかかからく そんもってくらきいらつとも十分万分六 ろながかととうどし六月十四のようしのってやつだきる かち えならさめかのあっとくるち川むさるのんちで なあくへんやきろいとのろうちがきあんらうたっ はしとうきちる べれらいあえまれあるもち まがまりいそれより日くまるう くいっちしせろのうちやき ぬみづてんとうりともは日 あるまなからままし あるかんり 7

2 3 4 5

6 7 8

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1

9 20 1 2 3 4 5

6 7 8 9 🕕 1 2 3

4 5 6 7 8 9 🕕 1